

令和5年度 重点目標

『学力向上』～自ら学ぶ力の育成を目指して～

① 授業の改善

【目指す授業】

- つけたい力を明確にした授業
- すべての児童が「わかる」「できる」「たのしい」授業
- 話し合い活動を重視した授業

【授業改善のために】

- ◎つけたい力に着目した校内研究の推進
- 単元計画と評価の充実
- 毎時間の「授業のめあて」の提示と「ふりかえり」の整合性
- ジョイントプログラム、全国学力学習状況調査等の分析（PDCAサイクルの活用）
- 思考を深めるための板書とノート指導
- 壁面掲示の充実
- 資料や具体物の効果的な活用
- ICT機器の効果的な活用
- ◎専門性を生かした授業の実施（教科担任制【6年】、交換授業、交換道德、専科授業等）
- 個に応じた指導・支援の徹底（授業指導協力体制）

【授業力の向上】

- 授業を行う…授業公開（校内研究・分掌部会提案授業・若葉会公開授業など）
- 授業を見る…校内研究 校内ビデオライブラリー 支部研究発表会 校内研究会活動
- 授業を学ぶ…自己研鑽を積む（外部研修会 研究会活動 総合教材ポータルサイト）

② 高まりのある学習集団の形成

◎縦割り活動を重視した集団形成

- 特別活動を中心とした学級経営
- 学習規律の明確化・共通化の徹底
 - ・学習ルール（授業中の言葉づかい、姿勢、整理整頓等）の徹底
 - ・構造化（導入～展開～まとめ・ふりかえり）された授業
 - ・板書のルールの統一（めあてカード、色使いのきまり等）
 - ・ユニバーサルデザインの視点に立った教室経営

③ 基礎・基本の学力の定着

- 帯時間の活用と充実（読書・タブレットドリルなど）
- 家庭学習の充実と系統性（タブレット持ち帰り学習、反転授業）
- 放課後を活用した学習相談の実施